

## 1995年からの調査概要

年次	調査方法	調査対象日 (各年とも10月)	調査対象	調査相手数	調査有効率
1995年	配付回収法 プリコード	12～25日の14日間、 平日10日、土・日各2日	全国10歳以上	25,200人	76.1%
2000年	配付回収法 プリコード	12～22日の8日間、 平日4日、土・日各2日	全国10歳以上 (都道府県別)	45,120人	73.1%
2005年	配付回収法 プリコード	11～24日の14日間、 平日10日、土・日各2日	全国10歳以上	12,600人	61.3%
2010年	配付回収法 プリコード	14～24日の8日間、 平日4日、土・日各2日	全国10歳以上	7,200人	68.1%
2015年	配付回収法 プリコード	13～26日の14日間、 平日10日、土・日各2日	全国10歳以上	12,600人	62.6%
2020年	郵送法 プリコード	10～18日の8日間、 平日4日、土・日各2日 (予備日24～11月1日)	全国10歳以上	7,200人	59.0%

## 方式の変更

1995年より、調査方式をそれまでの「アフターコード方式」から「プリコード方式」に変更した。従って、1990年以前の調査結果とは、直接比較できない。

プリコード方式	調査相手が、あらかじめ行動名が印刷された調査票の「該当の行動欄」の、「該当の時間帯」に線を引く。
アフターコード方式	調査相手が調査票に自由に記入した行動を、コーダーが、後で、一定の基準により分類する。

## 方法の変更

2015年まで、配付回収法で調査をおこなってきたが、新型コロナウイルス感染拡大により2020年調査は郵送法で実施。配付回収法、郵送法ともに「自記式調査」であり、また生活時間という実態を把握する調査のため、今回は過去と比較した分析をしている。